

わたしの 妊娠報告書

記載日 令和3年 3月 13日

おめでた宣言日	令和 2 年 8 月
年齢 (38) 歳	平成 (22) 年 (11) 月 結婚
私は (顕微授精)	で妊娠しました。

不妊治療歴	約 (7) 年 () ヶ月 (35 ASKAでの治療歴) (3年7ヶ月)
他院での治療歴	子宮内膜症病巣切除・卵巣チョコレート嚢胞の摘出手術 なし (あり) → 内容 (タイミング法, 人工授精4回, 体外受精・顕微授精 (採卵4回, 胚移植4回))
ASKA での治療歴	
一般不妊治療	
<input type="checkbox"/> 自然排卵 タイミング法 () 回	
<input type="checkbox"/> 排卵誘発 タイミング法 () 回	
<input type="checkbox"/> 自然排卵 + 人工授精 () 回	
<input type="checkbox"/> 排卵誘発 + 人工授精 () 回	
生殖補助医療	
<input type="checkbox"/> DOST 法 () 回	
<input checked="" type="checkbox"/> 体外受精 () 回 } 採卵3回, 胚移植6回	
<input checked="" type="checkbox"/> 顕微授精 () 回 }	

妊娠の秘訣・心がけていた事

治療のゴールは妊娠しかないと考えてしまうとしんどくなってしまっているので、結果的に授からなければ夫婦2人の人生を楽しもうと考えていました。治療一色にならないよう仕事も続け、趣味や旅行も楽しみながら、疲れたときは通院をお休みし、無理のない範囲で治療を続けました。ヨガや鍼灸、漢方などもとり入れていました。

わたしの 妊娠報告書

治療にまつわる苦労話し

治療内容

31歳の時に子宮内膜症による重度の癒着と卵巣チョコレート嚢胞が見つかり、自然妊娠が難しい状態であると診断されました。手術後に他院で治療を開始し、ステップアップしていきましたが、妊娠には至りませんでした。奈良への引越しをきっかけにASKAに転院し、治療を続けました。新たに導入された着床障害の検査によりいくつかの不妊要因が判明し、それらにアプローチしたうえで移植していただいたところ、初めて陽性反応が出ました。

その他（通院・治療費・家族など）

治療開始後4年間はフルタイムの専門職として働いていましたが、治療との両立に疲弊し、転職しました。また、治療3年目には姉が白血病を発症し、骨髄の提供が必要となるかもしれない事態になったので、半年以上通院をお休みしました（姉は結果的に骨髄移植せず寛解となりました）。この辺りが精神的には一番辛かったですが、その後は、不妊治療を継続できること自体が恵まれているのだと思えるようになりました。

治療中の方へのアドバイス

治療のゴールは妊娠しかない自分を追い込まないでください。

疲れたら休んで、自分の心と身体が喜ぶことをしてあげてください。

治療をきっかけに様々な気づきに出会い、生き方の多様性に目を向けられるようになるので、結果にかかわらず、不妊治療の経験は、その後の人生の糧となるものだと思います。

スタッフへのご意見など

長い間大変お世話になりました。先生をはじめスタッフの皆様が親切で丁寧な対応でしたので、信頼して治療に取り組めました。また、ASKAに転院してから、胚盤胞ができる確率が上がったので、培養士の技術が高いと感じました。

本当にありがとうございました。